
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 1月31日～2月6日

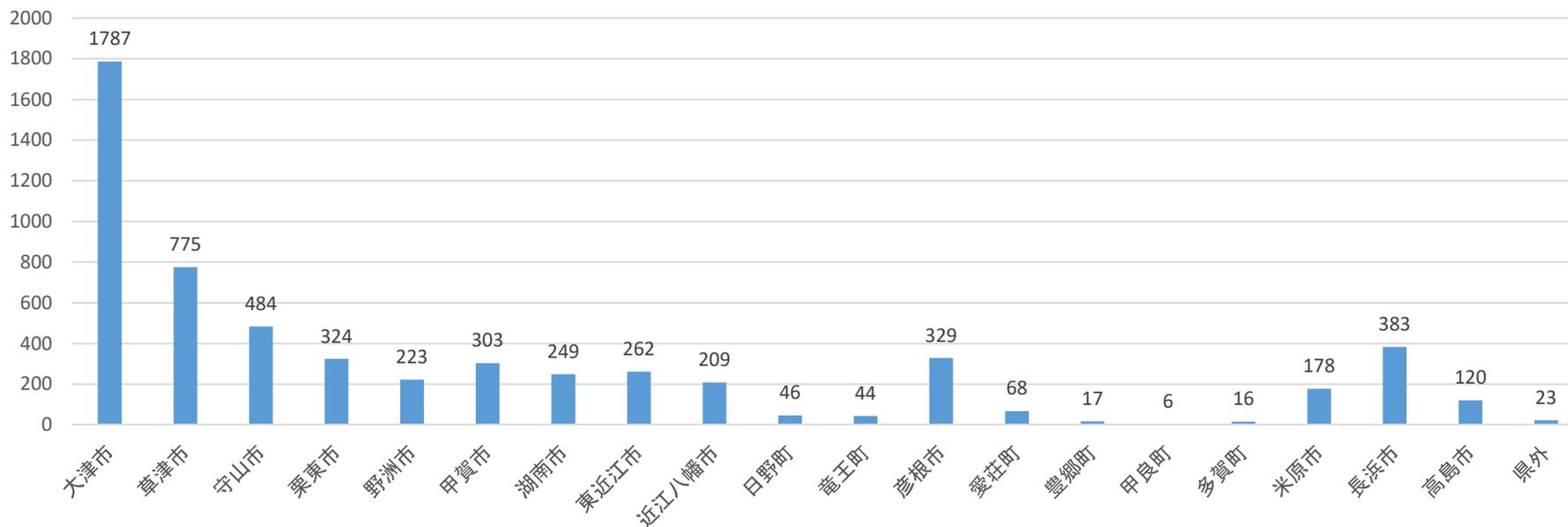
2月8日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

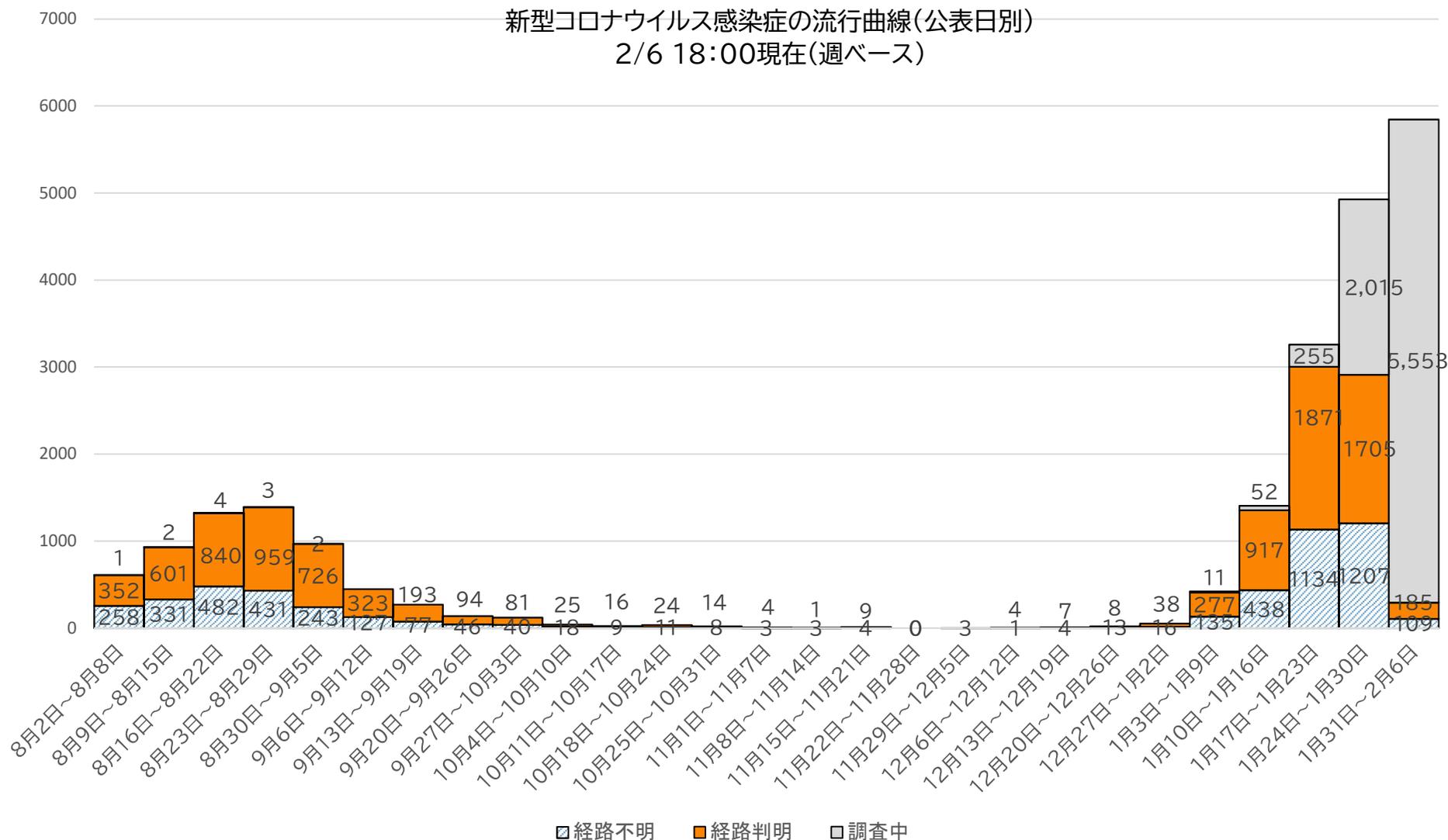
	新規感染者数
今週の報告数(1/31~2/6)	5,847人
累計(2/6時点)	28,390人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

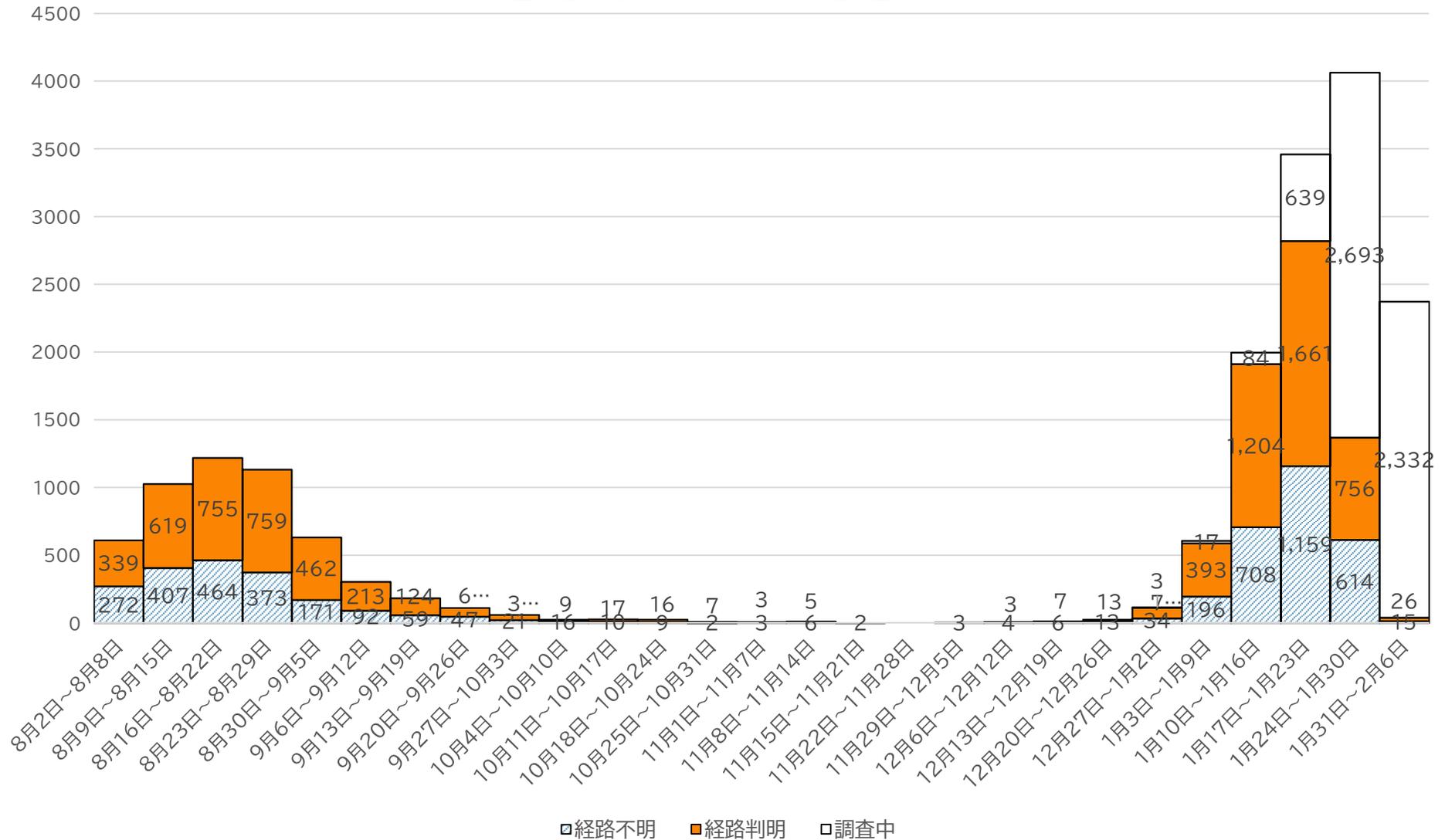
① 流行曲線(公表日別)(2月6日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(2月6日現在)

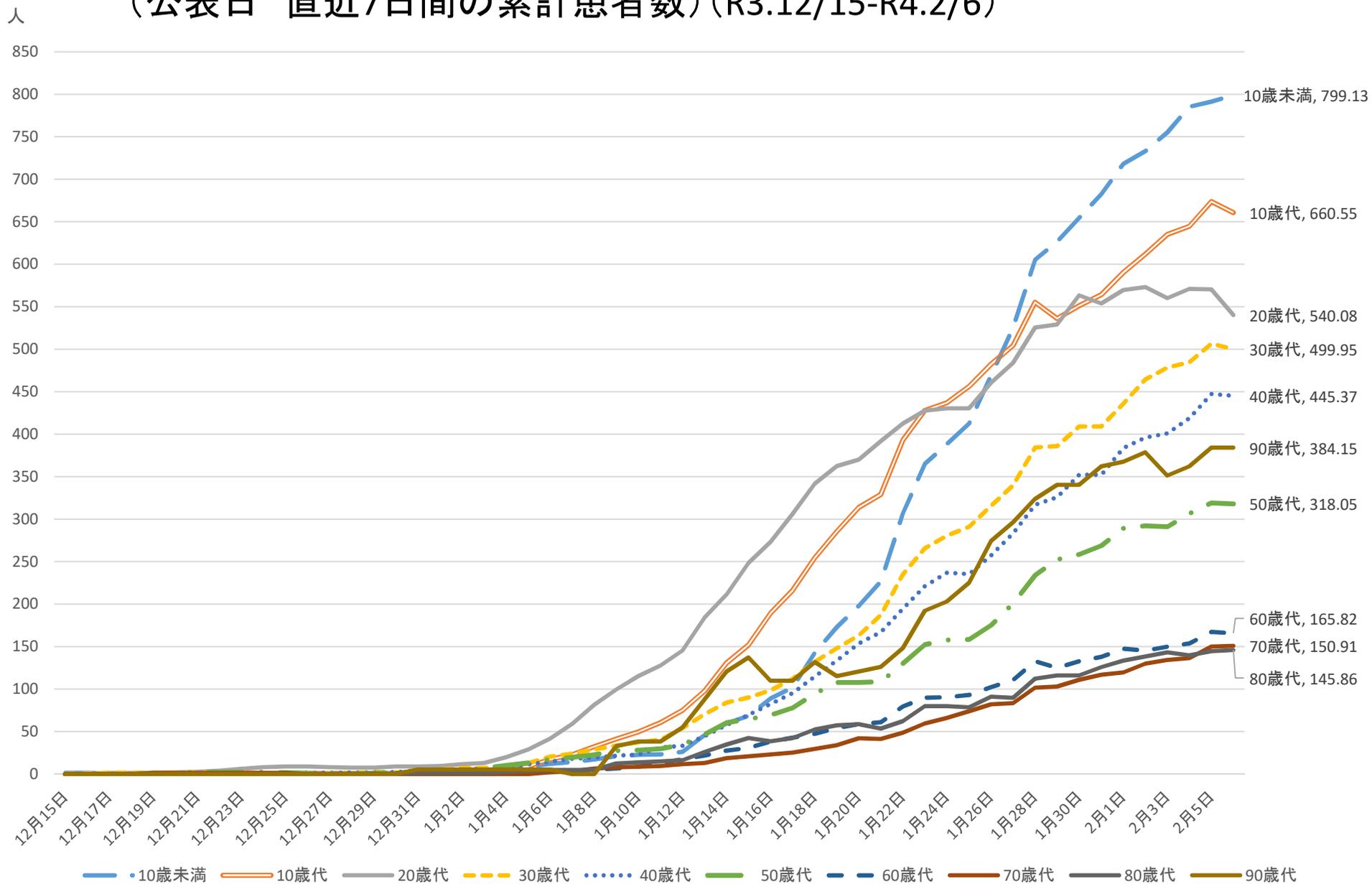
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)2/6 18:00現在(週ベース)



注)無症状者を計上していません。今後2/6以前に発症した患者が届出されることがあります。

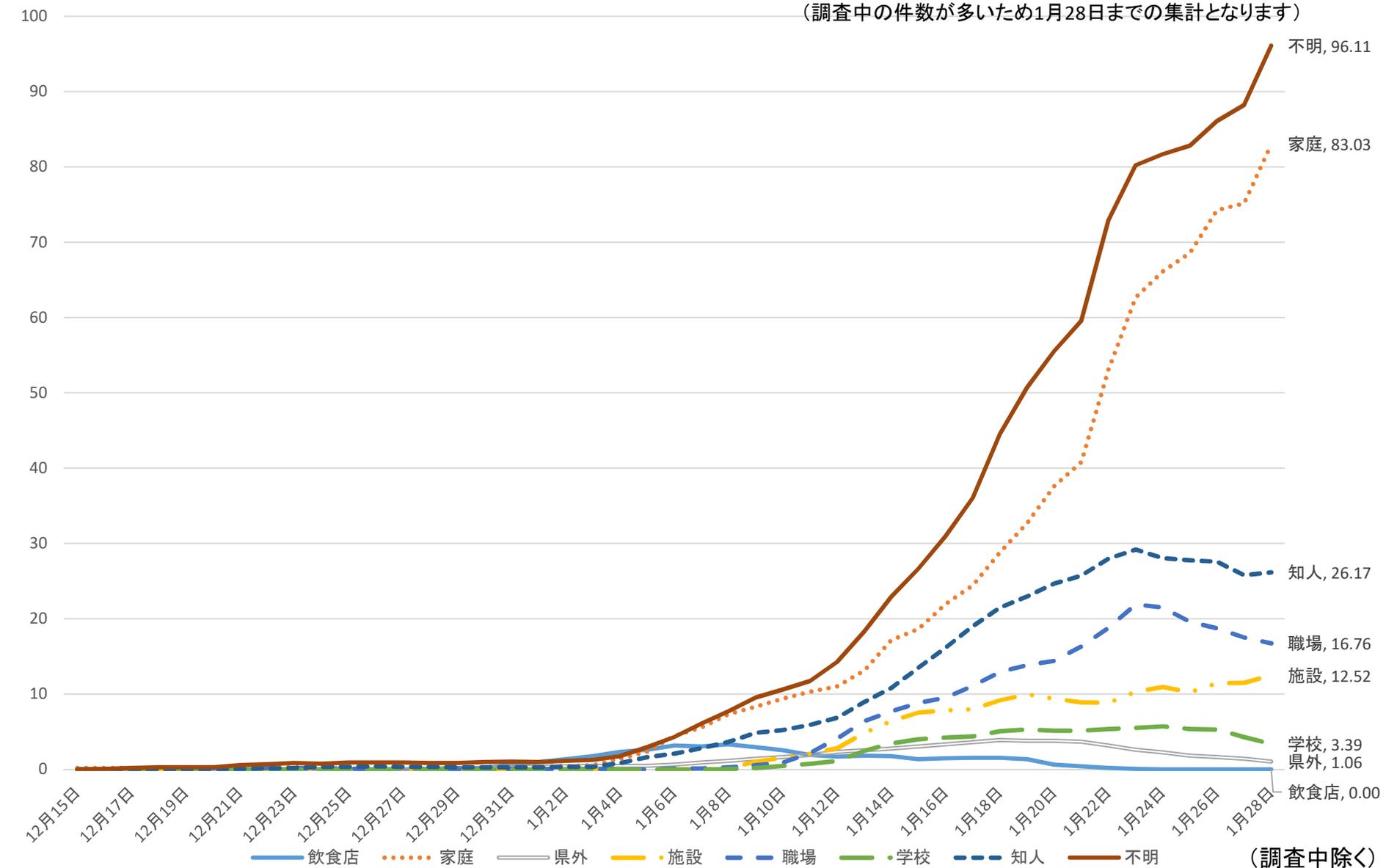
4)年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数)(R3.12/15-R4.2/6)



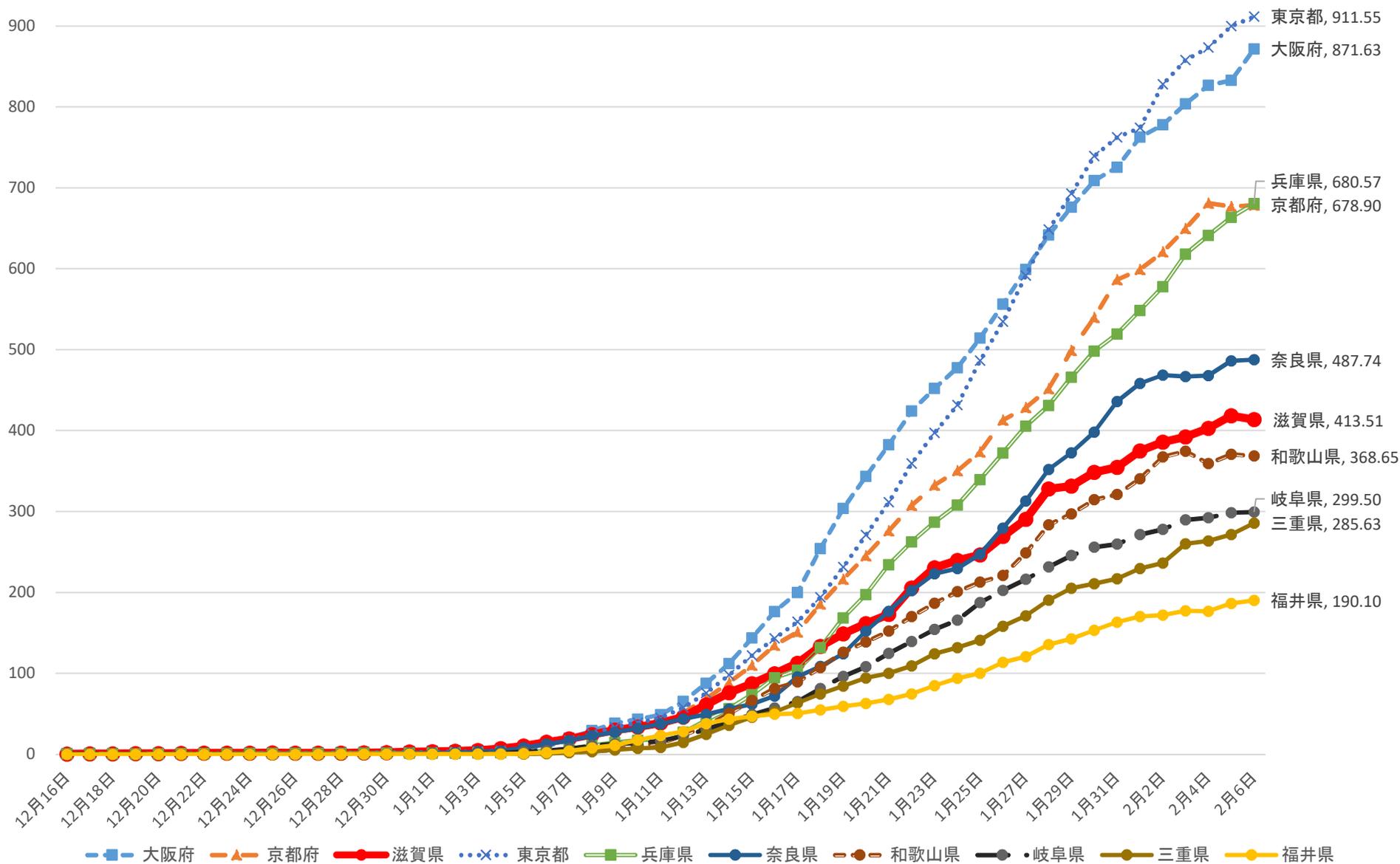
5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

(公表日 直近7日間の累計患者数)(R3.12/15-R4.1/28)



6) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移

人 (直近7日間の累計患者数)(R3.12/15-R4.2/6)



2、県内の感染状況と体制について(2/6現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修 理待ち	空数			
			県内発生	その他					県内発生	その他	
総数	484	334	288	46	150	677	226	226	0	51	400

2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数					入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡	
			入院中			入院予定等					
			重症	中等症	軽症						
PCR検査数	240,682										
(うち行政検査分	89,965)	28,390	7,777	288	2	54	232	7,263	226	20,502	111
(うちその他検査分	150,717)	(うちPCR検査判明分	20,017)					(うち自宅待機	553)		
抗原検査数	126,951	(うち抗原検査判明分	8,373)					(うち自宅療養	6710)		

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

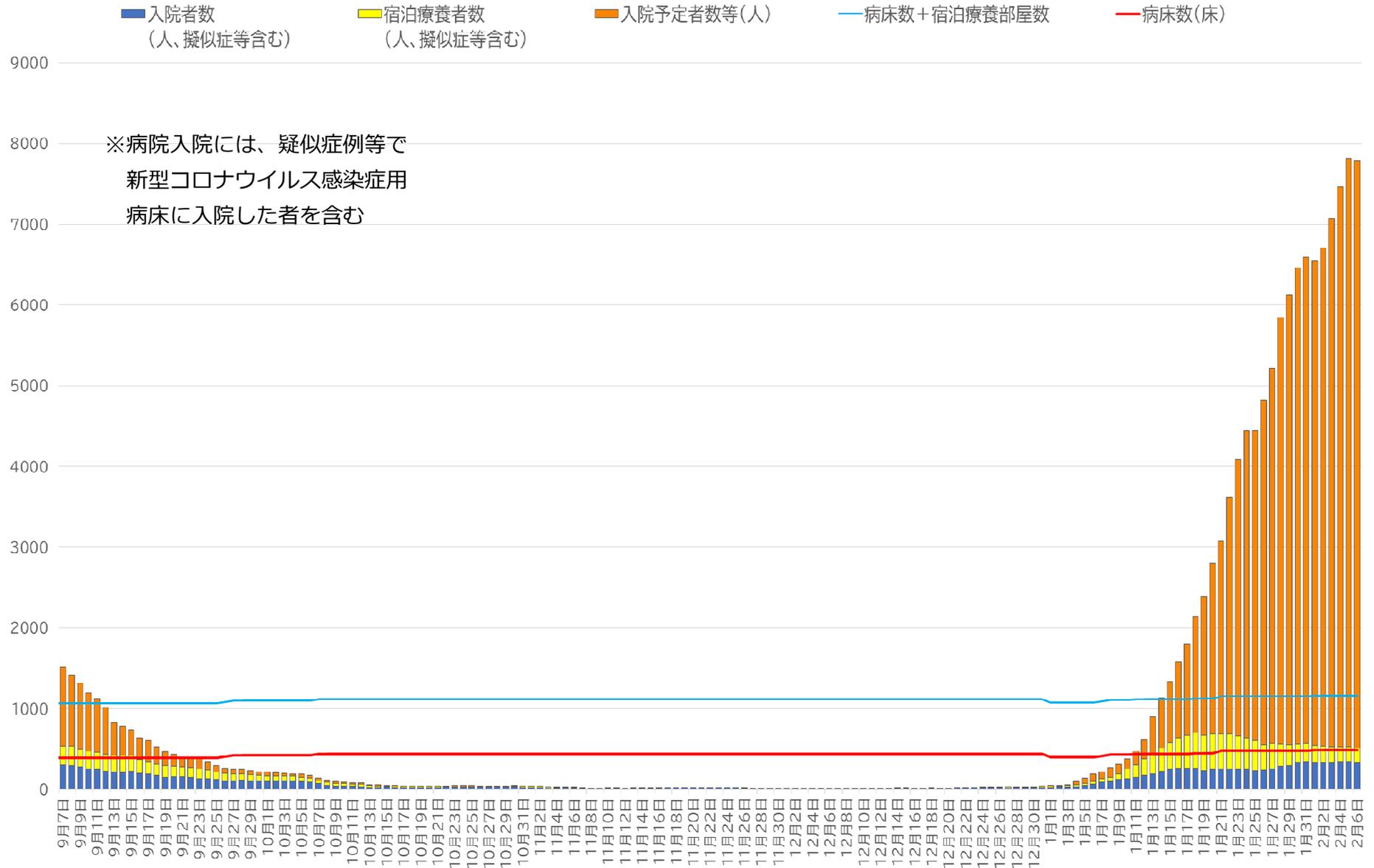
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

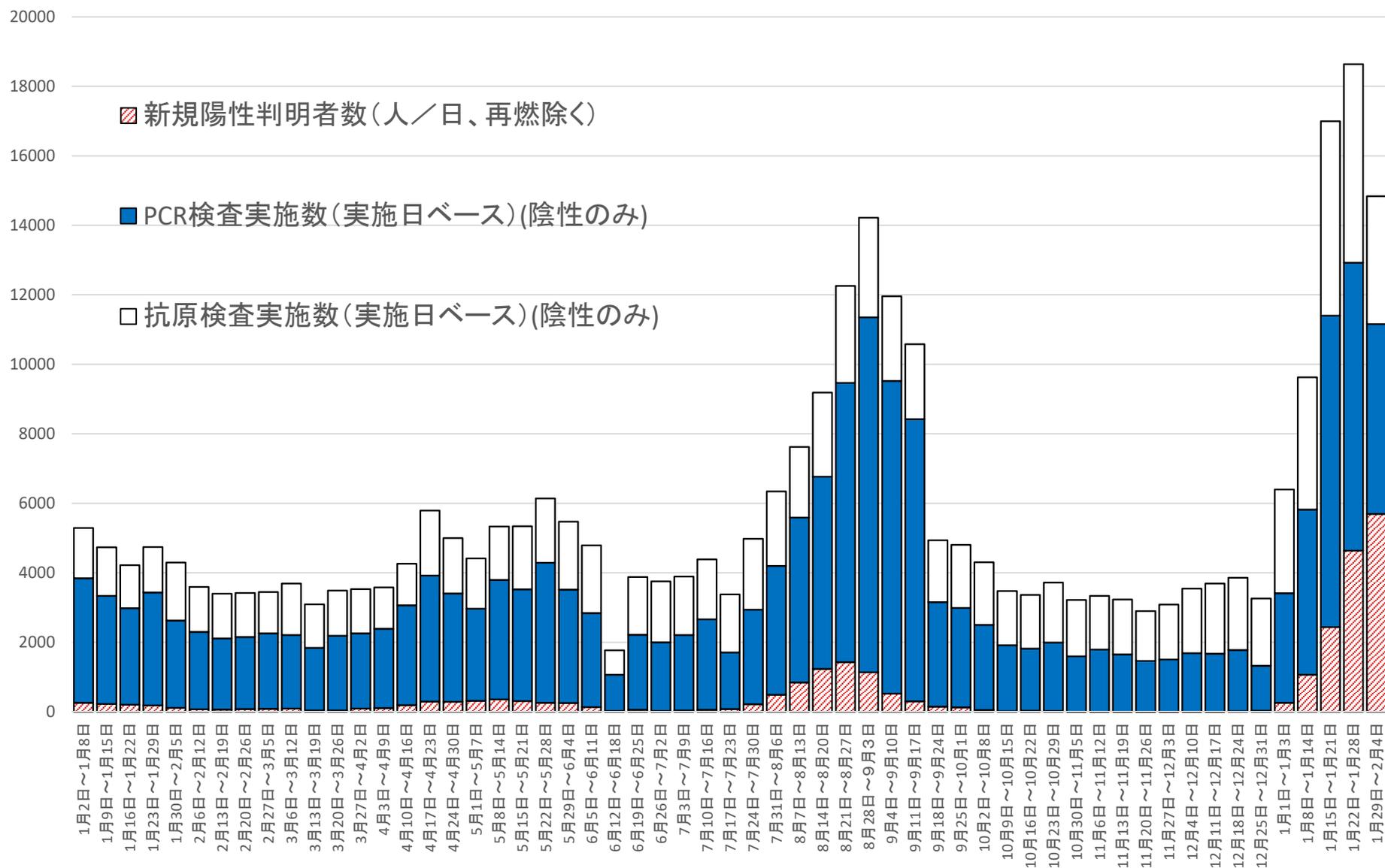
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

1人

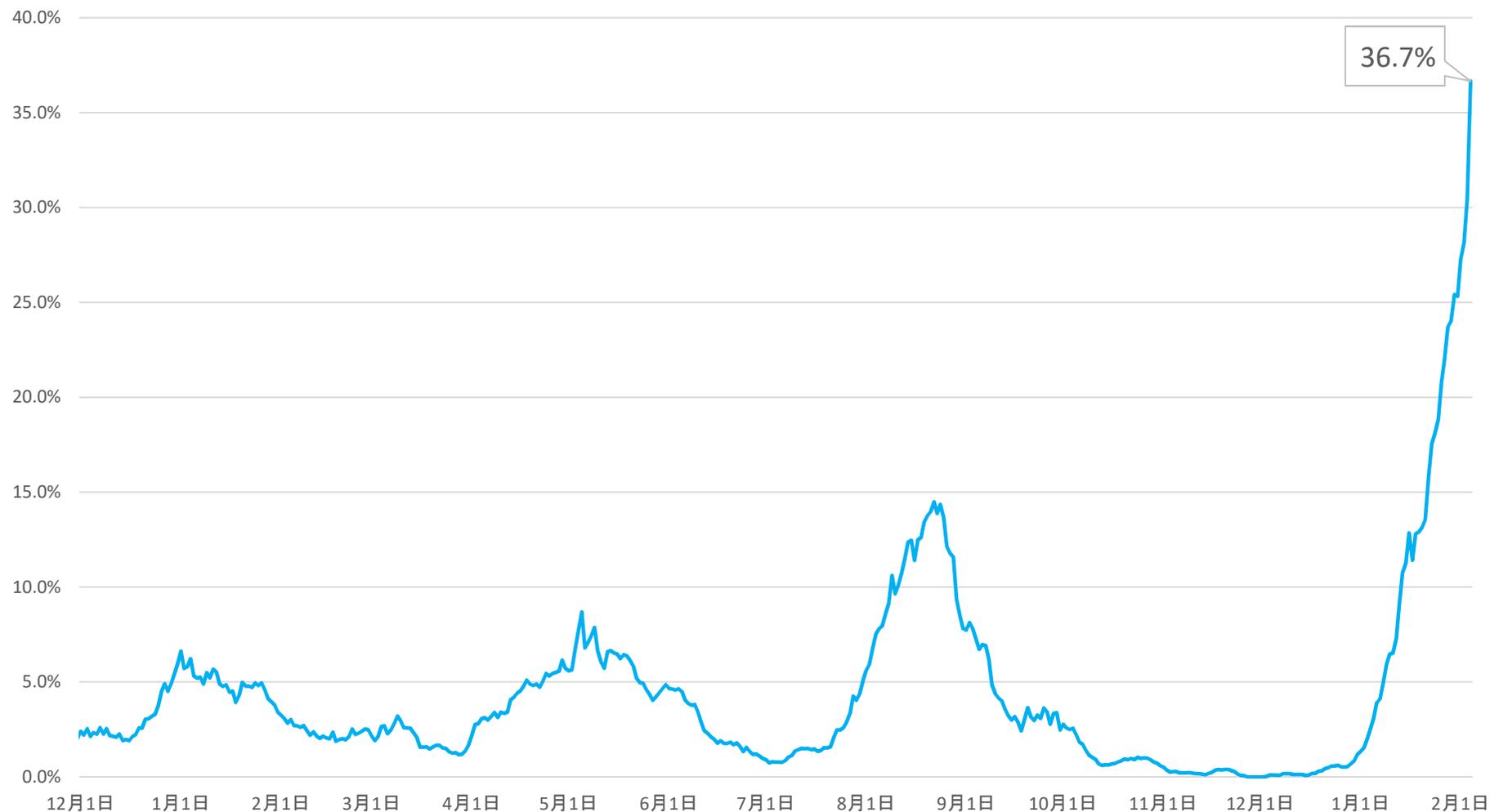
3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



5)陽性率(7日間移動平均)

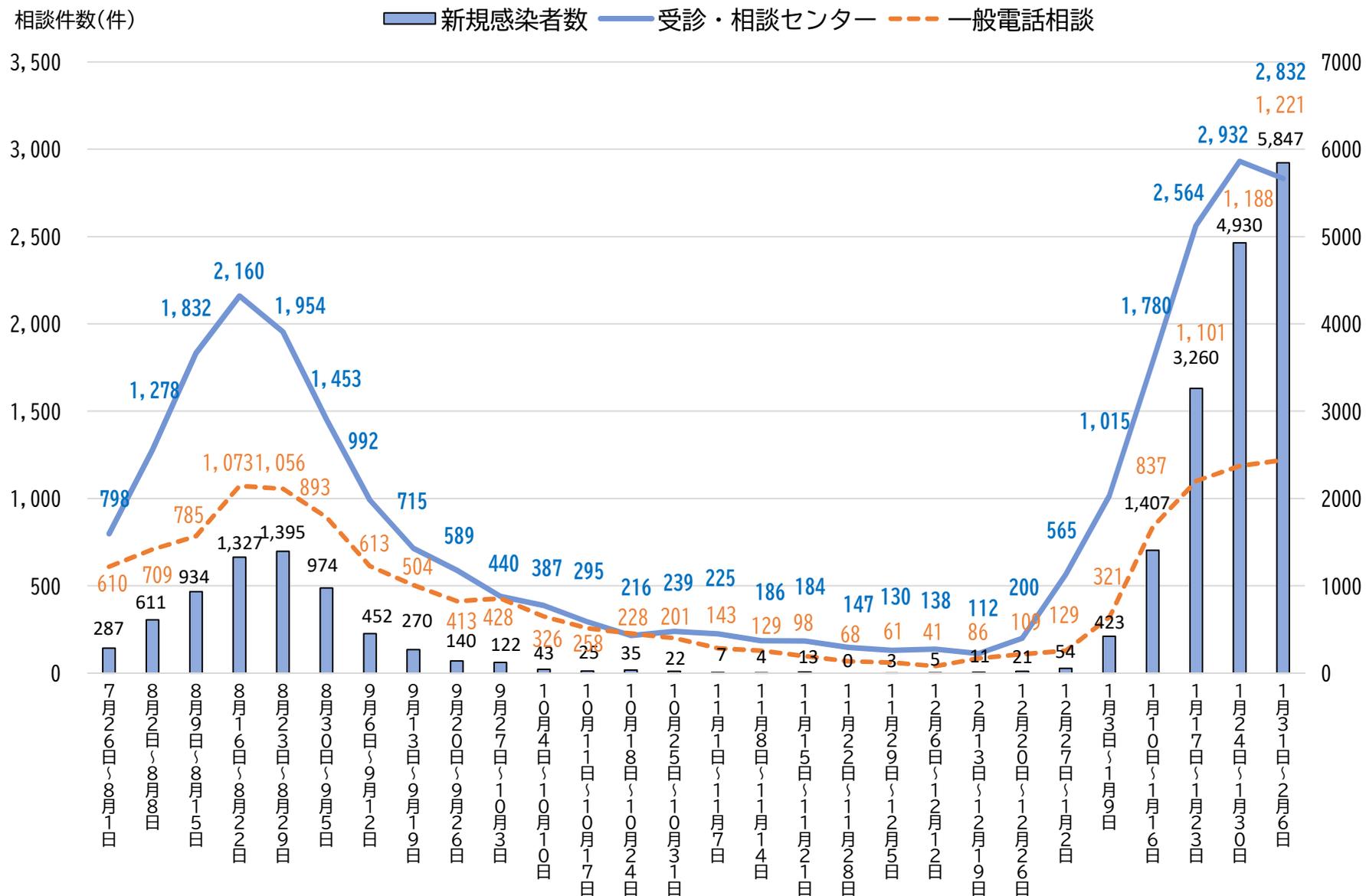


- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、2月4日現在の陽性率は36.7%でした。

6) 相談体制について

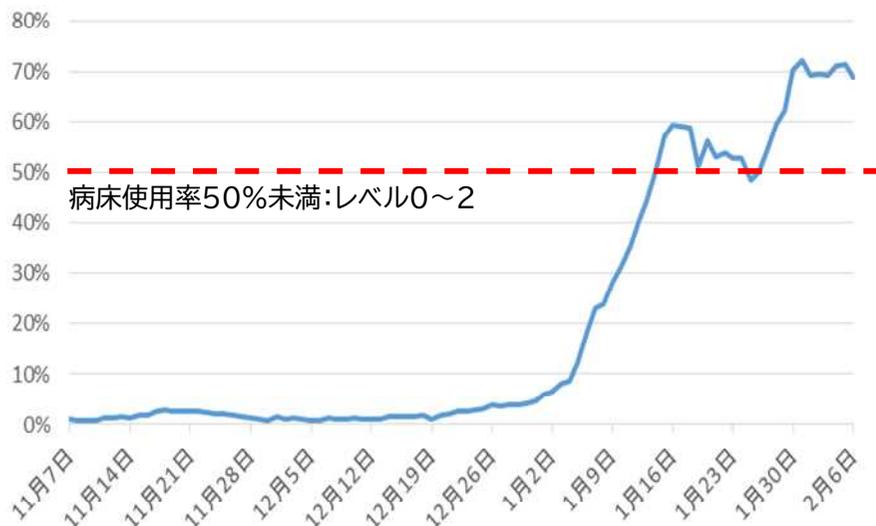
相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)

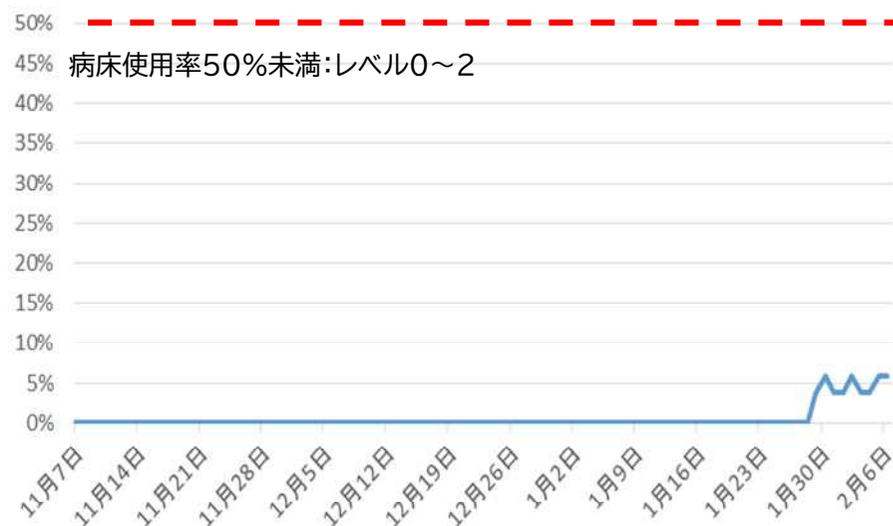


7)その他の県内の感染動向

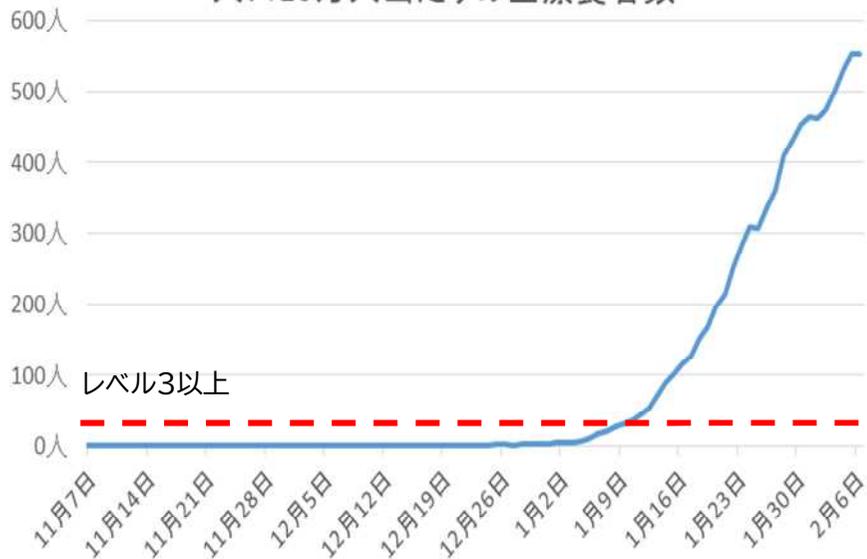
最大確保病床の占有率

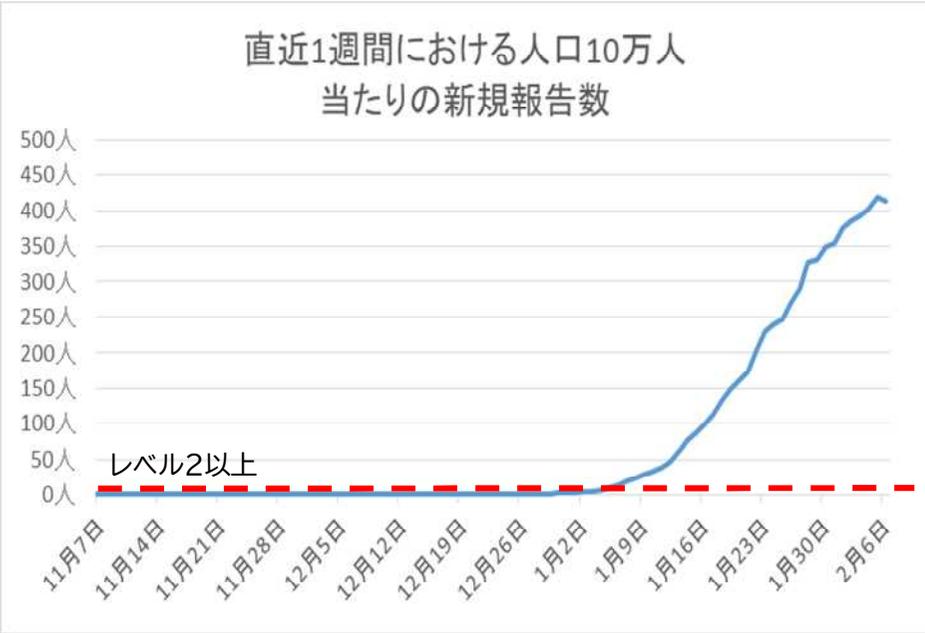


重症者用病床の最大確保病床の占有率



人口10万人当たりの全療養者数





評価(1/31~2/6の感染状況)

- 年末から全国的に新規感染者数が急増し、全ての都道府県で過去最多を更新しています。本県においても、2月4日には1129人の感染が確認されました。累積の感染者数は2万8千人を超え、その半数以上が令和4年1月1日以降の感染者となっています。
- 曜日別では、2月6日に40日ぶりに前週を下回りましたが、週全体では前週の1.19倍で収束傾向に入ったと言える状況ではありません。
- 多くの都道府県にまん延防止等重点措置が適用されましたが、明確に収束傾向にある地域はなく、未だピークが見えない状況です。
- 新規感染者数の急増に伴い重症化する方も出来ており、確保病床の使用率は70%を超え、自宅療養者数は増加を続けています。ハイリスクな人や場所に重点を置いた対応を実施すべき状況にあると考えます。
- 特に医療機関や福祉施設等のハイリスクな場所でクラスターとなった事例が多数発生しています。施設内で感染拡大しないよう個人の感染対策（標準予防策）や環境設定の再確認と徹底を改めてお願いします。
- 本県は第5波までの状況からみても大阪府や京都府の発生動向に連動する傾向があり、この感染状況は継続すると考えます。改めて、手洗い、会話時のマスク着用、換気や密の回避など基本的な感染対策の徹底・強化が必要です。